

栃木県農業大学校 令和5年度学校評価シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当		
				学部・塾	内容						
2 教育内容の充実	<p><b>(現状)</b></p> <p>○R4の授業評価アンケートで、内容が理解できている・概ね理解できているの回答が75.4%、とちぎ農業未来塾講義の満足度は84.8%であった。</p> <p>○農業技術検定3級合格率は86.7%、2級合格率は37.2%であった。</p> <p>○非農家や普通高校からの学生が増えており、よりきめ細やかな講義・実習が求められ、対応に苦慮している。</p> <p>○ICTやドローン等を活用した新技術、GAPの取組が現場で拡大しつつある。</p> <p>R4年度のスマート農業に接した学生の割合は100%。</p> <p>○高機能ハウス・ドリーム牛舎など最新型施設の整備が進む一方、施設、設備、備品の多くが老朽化しており、更新や修繕が進んでいない。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に対応し、R2年度にYouTube配信による授業を行ったが、同時双方向型など教育効果を向上させるためのオンライン授業の拡充が求められている。</p> <p>○R3年度創設の「いちご学科」について、カリキュラムを着実に実施しつつ、問題点等の検証を並行して行っていく必要がある。</p>	<p>分かりやすい授業・講義（アンケート結果）</p> <p>・農業生産学部 大体分かる 80%</p> <p>・未来塾 満足度 80%</p> <p>農業技術検定合格率</p> <p>・農業生産学部 3級 100%</p> <p>2級 33%以上</p> <p>スマート農業に接する学生の割合</p> <p>100%</p> <p>デジタル教育を利用する学生の割合</p> <p>100%</p>	(1)教育スキルの向上	生産学部 経営学部 未来塾	○教員研修会の開催				教務部会		
					○指導者研修会への参加				教務部会		
			○授業評価の実施					教務部会			
			○学部と研修担当間の栽培体系の統一					教務部			
			(2)生産技術、経営能力の向上	生産学部 経営学部 未来塾	○基本技術の徹底指導	・実践教育の実施					教務部会
					○先進技術の導入	・G.A.P.に係る教育の充実				GAP・HACCP担当	
						・連携協定等による教育研修の充実				教務部会	
						・ICT技術・新品種等の導入（拡充または理解促進）				企画情報部会	
			(3)主権者教育の充実	生産学部	○経営管理能力の習得	・実践的経営管理学習の充実				教務部会	
					○学生寮生活を通しての教育				学生会		
			(4)時代に応じた社会人研修の充実	未来塾	○販売学習機会の充実					企画情報部会	
					○社会生活講座・経営特別講座の充実					教務部会	
			(5)授業・研修のオンライン、デジタル化	生産学部 経営学部 研修科(ビジネススクール)	○とちぎ農業未来塾の講義内容・講師等の検討	・アンケート等により課題を整理し、次年度の内容を検討する。					未来塾担当
					○PC等を活用したペーパーレス講義の実施					教務部会 水田農業担当 企画情報部会	
(6)校内環境の整備・リスク管理の徹底	生産学部 経営学部 未来塾	○オンラインを活用した講義による授業運営の効率化									
		○感染症（新型コロナウイルス等）感染防止対策の徹底					学生会				
		○学校施設・設備の維持管理									
		○施設・教育現場でのリスク対応点検の継続実施									
(6)校内環境の整備・リスク管理の徹底	生産学部 経営学部 未来塾	○環境美化の励行						学生会			
		○個人情報の適正管理	・情報漏洩防止のため、媒体や資料の持ち出し厳禁等適正管理を徹底する。				学生課				

